

## 第7 企業会計決算の状況

県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記方式により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、電気事業及び病院事業の4事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

### 1 水道事業の概況

営業関係では、南勢志摩水道用水供給事業（志摩系：給水能力41,000 /日、南勢系：給水能力128,150 /日）及び北中勢水道用水供給事業（北勢系木曾川水系：給水能力80,300 /日、北勢系三重用水系：給水能力51,000 /日、北勢系長良川水系：給水能力6,400 /日、中勢系雲出川水系：給水能力81,416 /日、中勢系長良川水系：給水能力58,800 /日）の2事業を運営し、本年度は県内16市町に対し、延べ78,536,745 の給水を行いました。

平成20年度の営業成績について、事業収益は11,128,374千円（対前年度比97.7%）で、内訳は、営業収益10,674,924千円（対前年度比99.1%）及び営業外収益453,450千円（対前年度比73.0%）であり、また、事業費用は9,547,269千円（対前年度比95.0%）で、内訳は、営業費用7,721,430千円（対前年度比99.2%）及び営業外費用1,825,840千円（対前年度比80.6%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額1,581,105千円（対前年度比117.9%）が当年度の純利益となりました。

一方、建設事業は平成10年度から北中勢水道用水供給事業（北勢系第2次拡張事業長良川水系、総事業費25,377,000千円、給水能力18,000 /日）及び伊賀水道用水供給事業（総事業費22,134,385千円、給水能力28,750 /日）の建設を実施しています。

北中勢水道用水供給事業では、平成23年度の全部給水開始に向け、計画的に専用施設の整備を実施しました。

伊賀水道用水供給事業では、計画的に専用施設の整備を実施し、平成21年度から給水を開始しています。

平成20年度損益計算書 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	7,721,430	営業収益	10,674,924
原水及び浄水費	2,396,719	給水収益	10,671,654
配水費	526,667	その他営業収益	3,270
業務費	430,011		
総係費	611,912		
減価償却費	3,593,819		
資産減耗費	162,302		
営業外費用	1,825,840	営業外収益	453,450
支払利息	1,755,638	受取利息	87,419
受託工事費	68,201	他会計補助金	295,380
雑支出	2,001	受託工事収益	68,201
		雑収益	2,450
当年度費用合計	9,547,269		
当年度純利益	1,581,105		
合 計	11,128,374	合 計	11,128,374

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

平成20年度損益計算書<P/L> (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：千円、% [構成比])

借 方	貸 方
<p>営業費用 7,721,430 (69.4%)</p>	<p>営業収益 10,674,924 (95.9%)</p>
<p>営業外費用 1,825,840 (16.4%)</p>	<p>営業外収益 453,450 (4.1%)</p>
<p>当年度純利益 1,581,105 (14.2%)</p>	

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

貸借対照表<B/S> (平成21年3月31日現在)

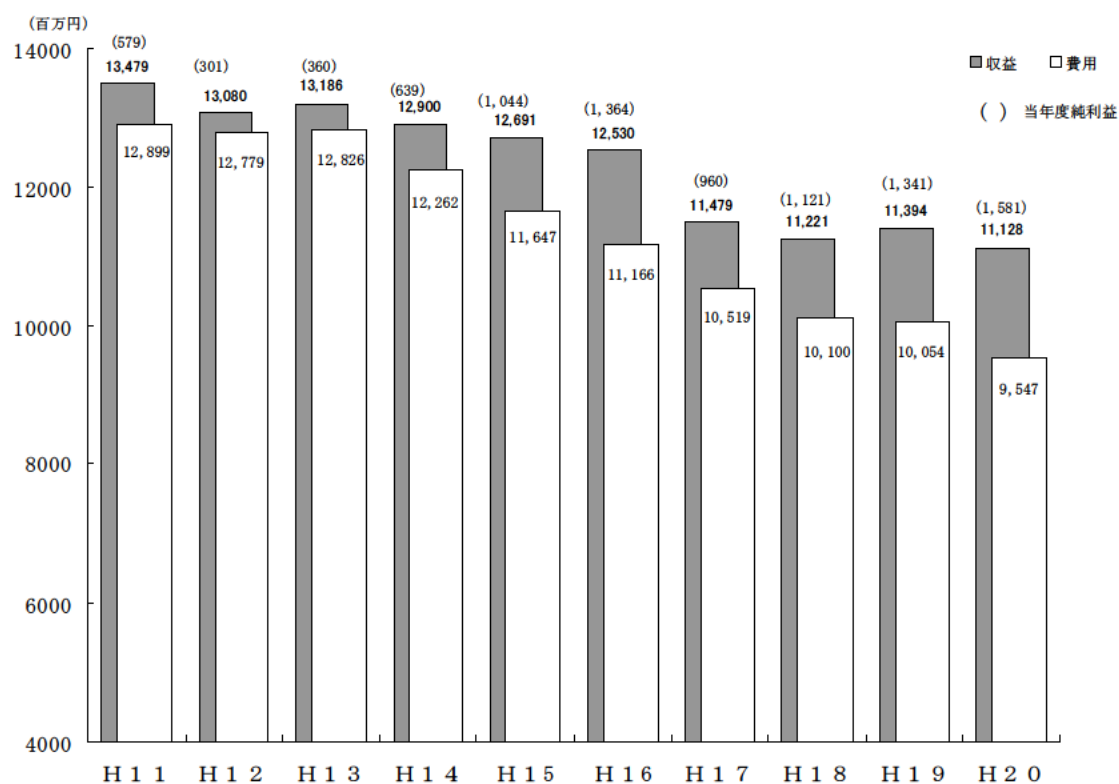
(単位: 千円、% [構成比])

借方	貸方
固定資産 185,350,849 (92.8%)	固定負債 7,215,481 (3.6%)
	資本金 137,939,907 (69.0%)
	剰余金 53,701,504 (26.9%) 資本剰余金 52,118,301 利益剰余金 1,583,203
流動資産 14,447,263 (7.2%)	

流動負債  
941,220 (0.5%)

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)

## 2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 714,030 日）、多度工業用水道事業（契約水量 10,000 日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 20,690 日）、松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 日）の4事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、平成20年度においては105工場に対し、延べ176,258,691の工業用水を供給しました。

平成20年度の営業成績について、事業収益は6,398,310千円（対前年度比100.8%）で、内訳は、営業収益6,273,758千円（対前年度比100.5%）及び営業外収益124,553千円（対前年度比122.9%）であり、また、事業費用は5,492,181千円（対前年度比100.0%）で、内訳は、営業費用4,771,703千円（対前年度比101.7%）、営業外費用702,100千円（対前年度比94.0%）及び特別損失18,377千円（対前年度比35.5%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差906,129千円（対前年度比106.2%）が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業については、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽劣化施設の更新、補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

平成20年度損益計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	4,771,703	営業収益	6,273,758
原水及び浄水費	1,606,136	給水収益	5,633,478
配水費	220,530	その他営業収益	640,279
業務費	290,426		
総係費	380,974		
減価償却費	2,253,150		
資産減耗費	20,488		
営業外費用	702,100	営業外収益	124,553
支払利息	694,588	受取利息	111,704
受託工事費	1,777	受託工事収益	1,777
雑支出	5,736	雑収益	11,071
特別損失	18,377		
その他特別損失	18,377		
当年度費用合計	5,492,181		
当年度純利益	906,129		
合 計	6,398,310	合 計	6,398,310

（四捨五入のため合計が合わない場合があります）

平成20年度損益計算書<P/L> (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：千円、% [構成比])

借方		貸方	
	営業費用 4,771,703 (74.6%)		営業収益 6,273,758 (98.1%)
	営業外費用 702,100 (11.0%)		
特別損失 18,377 (0.3%)			
	当年度純利益 906,129 (14.2%)		営業外収益 124,553 (1.9%)

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

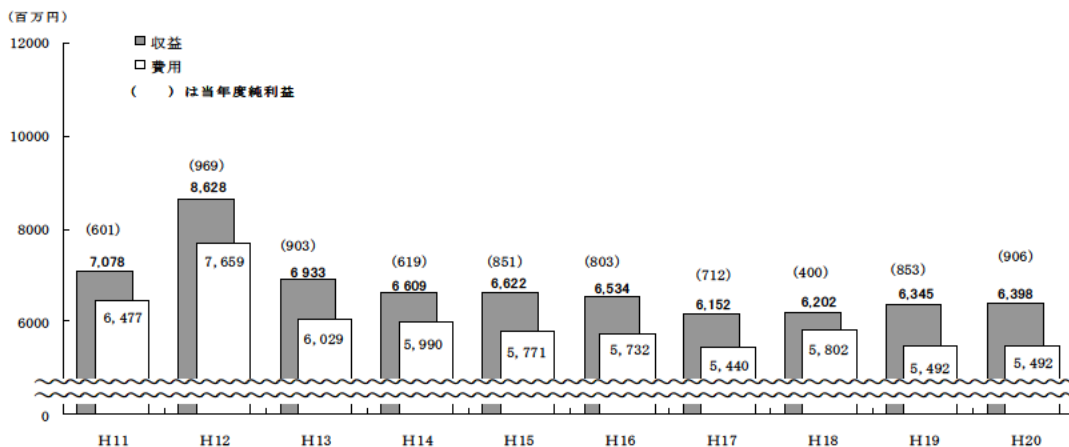
貸借対照表<B/S> (平成21年3月31日現在)

(単位：千円、% [構成比])

借方		貸方	
	固定資産 120,618,562 (89.2%)	固定負債 11,655,176 (8.6%)	
		流動負債 571,695 (0.4%)	
		資本金 81,153,757 (60.0%)	
流動資産 14,584,156 (10.8%)		剰余金 41,822,091 (30.9%)	
		資本剰余金 40,906,680	
		利益剰余金 915,410	

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)

### 3 電気事業の概況

営業関係では、水力発電事業については平均的な降雨量であったこと、長発電所の災害復旧工事の完了及びその他の長期間の作業による停止がなく年間を通して発電できたことから、発電量は目標電力量 299,952,000kWh に対し、供給電力量 321,656,215kWh (107.2%) となりました。

三重ごみ固形燃料発電所は、年間を通して安定してRDFを処理することができたことから、RDF 48,462 トンを受け入れ、63,384,100kWh の発電を行いました。

平成 20 年度の営業成績について、事業収益は 3,112,649 千円 (対前年度比 100.7%) で、内訳は、営業収益 2,330,135 千円 (対前年度比 106.0%)、附帯事業収益 755,845 千円 (対前年度比 92.1%) 及び営業外収益 26,669 千円 (対前年度比 94.5%) であり、事業費用は 3,173,613 千円 (対前年度比 93.9%) で、内訳は、営業費用 1,921,006 千円 (対前年度比 95.0%)、附帯事業費用 1,008,963 千円 (対前年度比 93.7%) 及び営業外費用 243,644 千円 (対前年度比 86.9%) です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額 60,964 千円が当年度の純損失となりました。

一方、建設事業については、川上発電所建設事業 (最大出力 1,200kW) で、水資源機構に対し共同施設分担金を負担しました。

平成20年度損益計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	1,921,006	営業収益	2,330,135
宮川第一水力発電費	105,579	電力料	2,328,423
宮川第二水力発電費	175,995	その他営業収益	1,712
宮川第三水力発電費	67,160		
長水力発電費	67,483		
三瀬谷水力発電費	611,974		
大杉貯水池費	120,553		
青蓮寺水力発電費	18,782		
大和谷水力発電費	106,643		
蓮水力発電費	112,683		
青田水力発電費	110,518		
比奈知水力発電費	55,351		
一般管理費	368,285		
附帯事業費用	1,008,963	附帯事業収益	755,845
RDF発電費	1,008,963	電力料	442,993
		その他附帯事業収益	312,852
営業外費用	243,644	営業外収益	26,669
支払利息	243,644	受取利息	25,467
		雑収益	1,202
		当年度収益合計	3,112,649
		当年度純損失	60,964
合 計	3,173,613	合 計	3,173,613

（四捨五入のため合計が合わない場合があります。）

平成20年度損益計算書<P/L>（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：千円、%〔構成比〕）

借 方	貸 方
営業費用 1,921,006(60.5%)	営業収益 2,330,135(73.4%)
附帯事業費用 1,008,963(31.8%)	附帯事業収益 755,845(23.8%)
営業外費用 243,644(7.7%)	営業外収益 26,669(0.8%)
	当年度純損失 60,964(1.9%)

（四捨五入のため合計が合わない場合があります。）

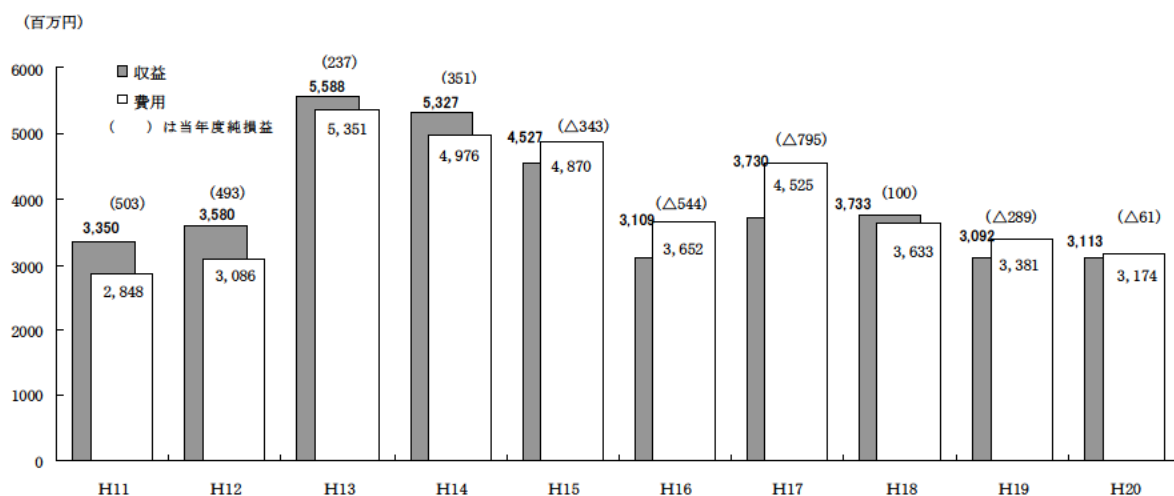
貸借対照表<B/S> (平成 21 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円、% [構成比])

借 方	貸 方
	固定負債 526,726 ( 2.7%)
	流動負債 290,343 ( 1.5%)
固定資産 16,472,858 (84.2%)	資本金 17,470,262 (89.3%)
流動資産 3,085,604 (15.8%)	剰余金 1,271,131 (6.5%) 資本剰余金 3,194,204 利益剰余金△1,923,073

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)



## 4 病院事業の概況

三重県病院事業は、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営し、県民が健康で文化的な生活ができる社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めております。しかしながら、新しい医師臨床研修制度の導入や度重なる診療報酬の引き下げ改定等、病院運営を取り巻く環境が著しく変化する中、特に医師・看護師不足が影響し、本来、病院が有する機能が十分に発揮できなくなり、その結果として収支は赤字基調となっています。

平成20年度における県立病院の利用状況は、入院患者数が延べ338,935人(1日平均928.6人)、外来患者数が延べ341,970人(1日平均1,407.3人)で、前年度に比べ入院患者数は延べ16,589人の減少、外来患者数は延べ23,622人の減少となりました。

平成20年度の営業成績について、医業収益は137億4,448万5千円、医業費用は174億7,281万6千円で、差し引きした医業損失は37億2,833万円となりました。

これに他会計補助金等の医業外収益38億8,831万4千円と企業債利息等の医業外費用12億3,275万8千円を加減した経常収支は、10億7,277万5千円の赤字となりました。また、過去に引き当てるべきであった退職給与引当金計上による特別損失を2億7,097万3千円計上しました。

以上の結果、総収益が176億3,279万9千円、総費用が189億7,654万6千円となり、差し引きした純損失は13億4,374万8千円を計上し、前年度に比べ損失額は217万9千円の減少となりました。

また、施設及び設備の整備については、志摩病院の非常電源改修事業や、総合医療センターのアンギオ装置等、診療機能の充実・強化を図るための高度医療機器の導入等を実施し、4病院で4億9,427万3千円を執行しました。

平成20年度損益計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	17,472,816	医業収益	13,744,485
給与費	9,684,216	入院収益	9,790,375
材料費	3,420,107	外来収益	3,640,055
経費	2,845,609	その他医業収益	314,055
減価償却費	1,422,002		
資産減耗費	41,402	医業外収益	3,888,314
研究研修費	59,480	受取利息配当金	20,965
医業外費用	1,232,758	他会計補助金	617,730
支払利息及び企業債取扱諸費	823,533	補助金	61,262
繰延勘定償却	81,919	負担金	3,102,086
患者外給食材料費	2,059	その他医業外収益	86,271
雑損失	325,247		
特別損失	270,973	当年度収益合計	17,632,799
		当年度純損失	1,343,748
合 計	18,976,546	合 計	18,976,546

（四捨五入のため合計に合わない場合があります。）

損益計算書＜P/L＞（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：千円、%〔構成比〕）

借 方	貸 方
医業費用 17,472,816 (92.1%)	医業収益 13,744,485 (72.4%)
	医業外収益 3,888,314 (20.5%)
医業外費用 1,232,758 (6.5%)	当年度純損失 1,343,748 (7.1%)
特別損失 270,973 (1.4%)	

（四捨五入のため合計に合わない場合があります。）

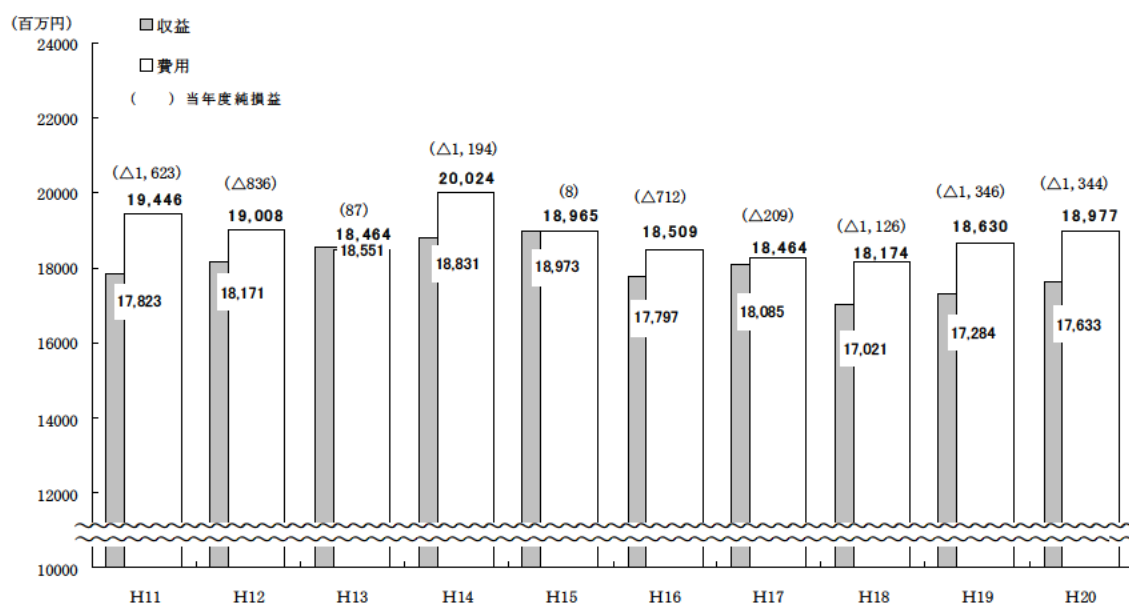
貸借対照表<B/S> (平成 21 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円、% [構成比])

資 産	負債・資本
	固定負債 103,628 (0.3%)
	流動負債 1,480,278 (4.6%)
固定資産 28,413,945 (89.2%)	資本金 27,348,134 (85.8%)
流動資産 2,655,509 (8.3%)	剰余金 2,935,755 (9.2%) 資本剰余金 7,671,451 欠 損 金 4,735,697
繰延勘定 798,342 (2.5%)	

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)